

令和5年度

# えんネット

報告書



# 1) 教育

## (1) ドクターキャリア形成特別講義（キャリア教育）

臨床実習前の医学科4年生対象にした男女共同参画講義（キャリア教育）を島根県医師会と共に、主催している。

【日 時】令和5年12月14日（木）

【場 所】島根大学医学部臨床大講堂

【対 象】島根大学医学部医学科4年生

【主 催】島根大学医学部地域医療支援学講座 島根県医師会

【共 催】日本医師会 島根大学男女共同参画推進室

島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室

【内 容】① WLB 講演ならびにワーク

広島大学医学部附属教育センター 教授 蓮沼 直子先生

② キャリアモデルの紹介

島根大学医学部 呼吸器・臨床腫瘍学 学内講師 濱口 愛 先生

小児脳神経疾患治療センター センター長 君和田 友美 先生

高度脳卒中センター 副センター長 安部 哲史 先生

③ 島根大学男女共同参画の取り組み

島根大学学長特別補佐（男女共同参画担当）河野 美江 先生

④ 島根県「えんネット」の取り組み

島根大学医学部地域医療支援学講座 助教 堀田 優希江

【医師会特別講演】

WHO 本部 流行感染症シニアアドバイザー 進藤 奈邦子 先生

「キャリア形成について」



## (2) ワークライフバランス講義

令和5年1月12日に和歌山大学医学部医学科1年生に対して、医学概論Ⅱの講義を「ワークライフバランスとヘルスプロモーション」と題して教授 佐野がオンラインにて担当した。学生たちは興味を持って聴講していた。

## (3) 医師生活密着型実習

医師密着型実習とは、島根でがんばる医師に同行して実習を行い、自分の将来像を探すことを目的にした実習である。今年度は応募がなかったが募集中である。

## (4) セミナーの開催

### 〈ワークライフバランスセミナー〉

【日 時】 令和5年9月27日(水)18:00-19:00

【場 所】 島根大学医学部みらい棟4階 ギャラクシー

Zoomを使用したハイブリット形式

【対 象】 学生、医療関係者

【主 催】 島根大学医学部地域医療支援学講座

【共 催】 島根大学ダイバーシティ推進室

医学部附属病院ワークライフバランス支援室

【テーマ】 自分を大事に生きるためのヘルスリテラシー

【講 師】 株式会社ジョコネ。代表取締役

北 奈央子 先生

【参加者】 54名

概 要： 看護学と工学の分野で女性のヘルスリテラシーの研究に従事し、フェムテック分野での起業家でもある北奈央子先生をお迎えした。

ヘルスリテラシーとは健康情報を入手・理解・評価しそのうえで行動することで実践される。つまり、自分自身を大切にすることにつながる行動である。

日本は残念ながらヘルスリテラシーの低い国であり、その背景にはヘルスケアシステム・教育・情報提供体制、日本文化が影響していると考えられている。特に女性については性教育の遅れや、行動へ移すのに羞恥心等による遅れを指摘された。ヘルスリテラシーに必要なこととして①女性も男性も知識を持つこと②必要な時に行動できる環境であること③人生を主体的に生きていくことを話された。

自分を大事にすることの大切を改めて実感したセミナーであった。



## 2) 学生との交流

女性医師の働き方、女性医師同士の横のつながりを持つために開催した。  
女性医師らと学生とで議論が深まった。

### 第1回えんネット交流会

【日 時】; 7月31日 18:00~19:00

【場 所】 共通カンファレンス I

【参加者】 医師 10名 学生 4名 その他 2名

#### 【概 要】

令和5年度第1回「えんネット交流会」を、学生4名を含む16名で行った。スタートから約1時間、自己紹介ごとに質問・雑談を交えながら楽しく過ごした。それぞれにおかれた環境が違う中で、悩みや目標も異なり、その時々に応じて、皆頑張っていることが伝わった。

終了後アンケートでは、『とても楽しかった』『今後の参考になった』『たくさんの人の話を聞いて良かった』と回答があった。

学生にとっては、将来をより具体的にイメージできる機会となり、医師にとっては大学病院でありながら診療科・講座を超えて、普段は交流がない方と人脈を作る機会となった。



## 第2回えんネット交流会

【実施日】令和6年2月21日 18:00~19:00

【場 所】共通カンファレンス I

【参加者】医師6名 学生2名

### 【概 要】

令和5年度第2回「えんネット交流会」を、学生2名を含む7名で行った。お子様連れの参加者もあり賑やかな和やかな会となった。

はじめは各自のプロフィールに、『1週間休みがあったら何をしたいか』を加えて自己紹介を頂いた。休みがあったら「旅行をしたい」や、「買い物をゆっくりしたい」等と妄想は膨らむばかりであった。その後、育児中の医師からは病児保育や、自分時間の取り方、知識のアップデートのコツについてそれぞれの工夫を聞かせていただいた。

学生からは出産のタイミングや、男性として支えるのにはどうしたらよいかという質問があり、意見が交わされた。

今回も忙しい中、集まっていた方に感謝し今後も継続していきたいと考える。就業後の1時間、ふだんはなかなか話せない方とも、この交流を切っ掛けに、新たなつながりが生まれるかもしれません。気になる方はぜひご参加ください。



## 3) 就労支援

### (1) 相談窓口

平成26年8月から働き方に不安を抱える方の窓口（えんネット）を設置し、出産・育児後の女性医師等が安心して職場復帰や、現在の働き方に悩みを抱える医師のために個々に応じた復職への相談も受け付けている。復職支援プログラム作成や復職に向けたシミュレーション教育等を支援して、専門に応じた対応が必要な場合は、支援担当員として協力いただく専門科の先生に相談を受けることも可能としている。

相談件数 20件

#### ・相談窓口事業の相談内容

- ① 子育てと仕事の両立方法
- ② 離職後の段階的なスキルアップについて
- ③ 異動先の研修施設 院内保育所等 福利厚生 の状況
- ④ 身体的不調, 精神的不調, ライフイベントに関連した働き方
- ⑤ ライフイベントと奨学金返還免除期間



## (2) 復職サポート

職場紹介、雇用についてサポートを行っている。勤務が開始された後は健康面、精神面での定期的なフォローを行っている。

職場紹介実績 1件

## 4) 研究

### 学生のキャリア選択についての研究

研究者：堀田優希江・佐野千晶

医学生のキャリア認識が、どういった生物学的因子、社会的因子、経済的因子、環境因子、教育機会因子と関連しているのかについてキャリア・アンカー理論を応用し、研究している。

医学科1年生と医学科4年生に対してキャリア思考やWLBについてのアンケート調査を行っている。

## 5) 広報

### (1) えんネットマガジンの発行

特集：医療の力で中山間部のコミュニティを支える医師たち

雲南市立病院の井上圭太先生、堀西祐多先生、内藤聖記先生、内藤祐美先生、岸本彩奈先生、小池尚史先生へインタビュー取材を行った。

雲南病院の雰囲気の良いさと、地域医療へ対する熱い思いが感じられた。



### (2) えんネットホームページ

キャリア支援・両立支援や学生支援の情報、学生教育について適宜更新している

<https://www.en-net.jp>

### (3) えんネットグッズの作成

えんネットの活動周知のためにグッズを作成し、必要な方にお配りしています。

本年度は、名札リールを作成いたしました。



### 5) 託児付セミナー支援

- 島根県糖尿病療養指導士認定研修会（松江赤十字病院）

令和5年6月10日（土）12:00～19:00

令和5年6月11日（日）8:00～13:00

- 島根県糖尿病療養指導士認定試験（松江赤十字病院）

令和5年7月9日（日）9:00～15:00

- 第24回日本内分泌学会中国支部学術集会

令和5年9月2日（土）12:30～18:00

